

赤と青のブルース (1960)

SAINT-TROPEZ BLEUS

メディア 映画

ジャンル 青春 ロマン스

製作国 フランス

色彩 Color

時間 94分

初公開日 1961/05/07

公開情報 映配

【解説】

南フランスの保養地サント・ロペを舞台に、前作「太陽がいっぱい」で人気者となったM・ラフォレがアンニュイな表情の中に現代っ子らしい所も見せ、とっても魅力的。しかし、C・シャブロールが脚本を担当したM・ムーシーの演出は、こういうのまで十把一絡げにヌーヴェル・ヴァーグって言われても（当時の批評はそうだった）困るんだよなあって感じのいい加減な即興で、親に内緒で男とヴァカンスにやってきたラフォレをめぐる恋のさや当てを、全くとりとめもなくフィルムに納めているだけ。ただ、彼女が弾き語りで唄うJ・プレベール作詞の“タンブルウィーズ”というアメリカへの憧れもあらわなフォーク・バラッド風の曲と、その場面はフニキであった。

【クレジット】

監督	マルセール・ムーシー	Marcel Moussy
脚本	クロード・シャブロール	Claude Chabrol
	マルセール・ムーシー	Marcel Moussy
撮影	ピエール・ロム	Pierre Lhomme
出演	マリー・ラフォレ	Marie Laforet
	ジャック・イジュラン	Jacques Higelin
	ピエール・ミカエル	Pierre Michael
	ステファーン・オードラン	Stephane Audran